

日日学習辞書『ねっこ』に掲載の語義から既習語を当てるアクティビティ 授業実施案

2022(令和4)年12月25日作成

同26日修正

2023(令和5)年5月18日修正

同22日修正

作成者 佐々木 理存

Gmail: msasaki.nz / Facebook: michiari.sasaki

[学習目標]

1. 配られたカードに書かれた語義を読み、その語義に相当する単語を推測して書くことで、既習単語の意味を復習する。
2. 『ねっこ』の例文を読むことで、正確な語義の定着を図るとともに、例文の精読を通じて読解力の向上を目指す。

[対象者]

- ・ 『まるごと 日本のことばと文化 初級Ⅰ』修了以上相当（語義に使われている表現の水準に鑑み）

[必要なもの]

1. 三修社刊『ねっこ 日日学習辞書 動詞・形容詞300』（学習者1人につき1冊）
2. 既習教材から作成した任意の品詞の単語リスト（学習者1人につき1部。リストには、『ねっこ』収録の単語が出題数分含まれているようにする）
3. 単語リストに含まれる『ねっこ』収録語の語義を印刷したカード（1人につき1セット。A4用紙に語義4つまたは6つが印刷されるようにし、印刷後、カードの大きさに切っておく。参加者各自に切ってもらうのも一案）
4. 筆記具（参加者がカード裏に回答を手書きするため）

[手順]

	学習者活動	所要時間（全90分）	準備事項、工夫など
1	<ul style="list-style-type: none">・ 単語リストを1部ずつ受け取り、各自でリスト内の単語の読み方と綴り、意味を確認する。・ 各自で行うには負担が大きい場合、ペアで相談しながら行ってもよい。ただし、相談時は日本語を用いるようにする。・ 制限時間が過ぎたらリストを伏せる。	<p>リスト内の単語数とその難易度に応じて適宜、制限時間を設定する。</p> <p>例：5語1分。計50語なら10分。</p>	<ul style="list-style-type: none">・ リスト内に、『ねっこ』に語義が掲載されている単語が出題数分含まれているようにする。・ 出題する『ねっこ』の語義とその例文をよく確認しておき、学習者の読解力より少し難しい程度の語義と例文が提示されている単語を選ぶようにする。・ 回答のしやすさに配慮し、リスト内の単語は同じ品詞とする。

2	<ul style="list-style-type: none"> 『ねっこ』の語義が書かれたカードを1人1セット受け取り、それぞれの語義が示す単語リスト内の単語を推測して、カード裏に手書きで回答する。 各自で行うには負担が大きい場合、ペアで相談しながら行ってもよい。 回答の漢字部分はひらがなで書いてもよいものとする。 	<p>語義の難易度に応じて適宜、制限時間を設定する。</p> <p>例：1語2分。推測する単語数が10語なら20分。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 出題する語義は『ねっこ』と同一の表現を用いる。 教師は巡回し、回答の進捗と回答内容を随時確認しておく。 出題する語義に関して、既習漢字にはふりがなを振らず、語義を短くするため文末を「_____という意味」などと体言止めにする工夫などが考えられる。
3	<ul style="list-style-type: none"> ペアで回答を持ち寄り、相談する（上記2で正答をペアで相談していた場合には不要）。 教師を交え、クラス全体で語義と正答を検討し、自己採点する。 正答1つにつき2点、綴りに誤りのある単語は1点をつける。 	<p>例：1語2分程度。推測した単語数が10語なら約20分。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 未習語が多く含まれている例文であっても、既習語や単漢字に注目すれば解釈できる例文が多いことを、必要に応じて指摘、例示する。 景品を用意するなどして、学習者の参加意欲を高める工夫が考えられる。 巡回を通じて誤答や無回答が多いことが事前に判明している場合には、ペアごとに教師が採点した後、誤答だった問題をペアごとにあらためて検討した上で、クラス全体での正答確認に進む工夫も考えられる。
4	<ul style="list-style-type: none"> 『ねっこ』を1冊ずつ受け取る。 出題された『ねっこ』見出し語のうち、誤答の多かったものなど2語程度をクラス全体で選び、その単語の例文を『ねっこ』で探して各自で精読する。 複数の語義が示されている見出し語もあるので、例文を探す際に注意する。 	<p>例：1語10分程度。例文を精読する単語数が2語なら約20分。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 学習者の負担を考えると、例文を精読する単語の数は1授業あたり2語程度にとどめておくのがよいと思われる。
5	<ul style="list-style-type: none"> 上記4で精読した例文のうち、意味が不確かな表現について、ペアまたはクラス全体で検討する。 	<p>例：1語10分程度。例文を精読する単語数が2語なら約20分。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 未習語が多く含まれている例文であっても、既習語や単漢字に注目すれば解釈できる例文が多いことを、必要に応じて指摘、例示する。

[課題点]

1. 語義と例文に使われている単語のうち、意味を調べたい単語が『ねっこ』には収録されていないことが大半である点。その場合、ペアでの相談を通じて意味が判明すればよいが、相談後も判明しない場合、教師やアプリ辞書に頼ることになり、『ねっこ』活用の機会が失われる。
2. 既習単語リスト作成の手間（単語データの取り込みと編集、印刷）が生じる点。
3. 語義カード作成の手間（語義入力と印刷、紙をカードの大きさに切る）が生じる点。

[参考]

(1) 単語リスト例

Index No. for print	語彙 <かな>	語彙 <漢字>	アクセント
1	キャッチボール (します)	キャッチボール (します)	キャッチボ ^ー ール
2	けっこん (します)	結婚	けっ ^こ ん
3	けんこう	けんこう	けん ^こ う
4	コピー (します)	コピー (します)	コ ^ー ピー
5	さんぽ (します)	さんぽ (します)	さん ^ぼ
6	しごと	仕事	し ^ご と
7	しつもん	しつもん	しつ ^も ん
8	しゅっちょう (します)	出張	しゅっ ^ち ょう
9	しょうかい (します)	しょうかい (します)	しょう ^か い
10	せつめい (します)	せつめい (します)	せつ ^め い
11	たいそう (します)	たいそう (します)	たい ^そ う
12	たんとう (します)	たんとう (します)	たん ^と う
13	チェック (します)	チェック (します)	チェ ^ッ ク
14	でんわ (します)	電話	でん ^わ

(2) 語義カード例 (表)。裏は白紙。

(2000) 『ねっこ 日語習辞書動詞・形容詞300』 三修社

体に^{わる}悪いところがなく、元気だ^{いみ}という意味

(2000) 『ねっこ 日語習辞書動詞・形容詞300』 三修社

金をもらう^{はたら}ために働くこと。
 また、その人の^{しよくぎょう}職業。

以上